

# デニム・帆布に紙の質感

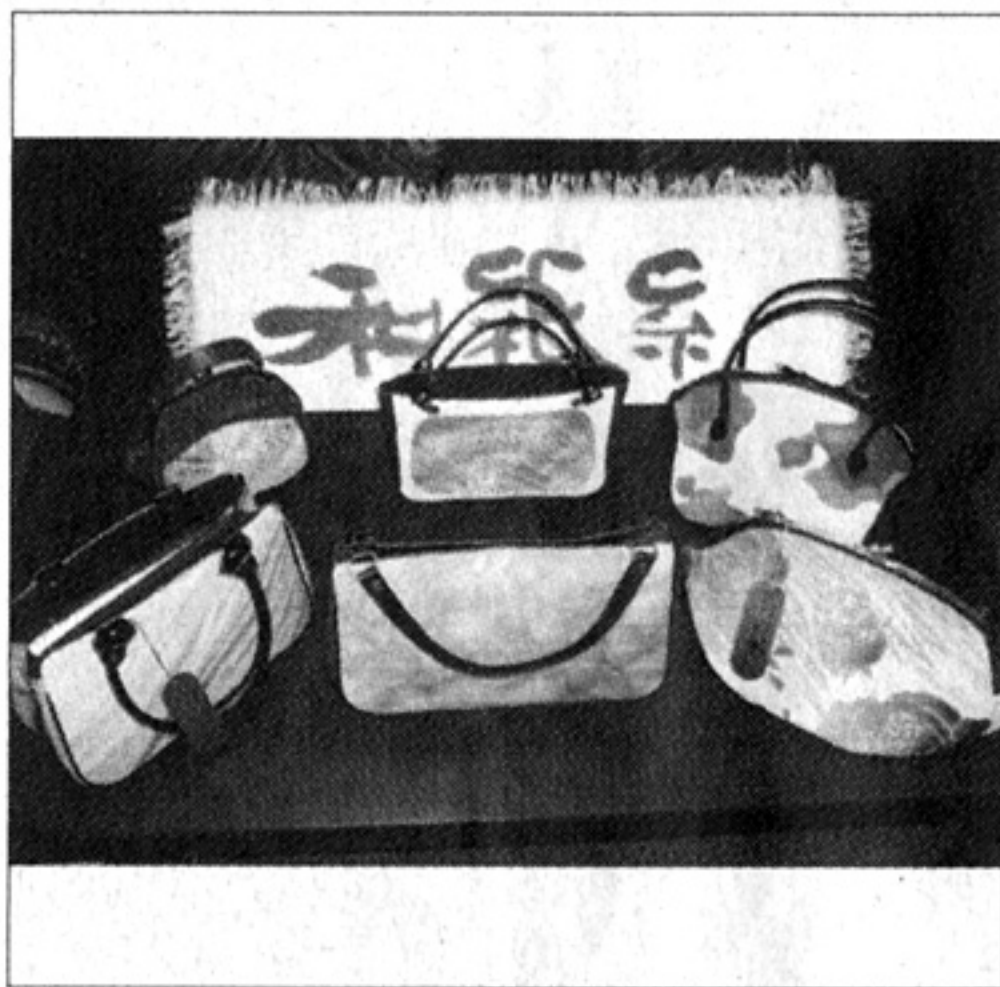
## 備後撚糸「和紙糸を使った女性用バッグ」

和紙で作った、特有の風合いを持つ女性用のバッグ。

1927（昭和2）年に創業した、広島県福山市にある撚糸（ねんし）業者が、水分を含ませた和紙を糸に加工する独自の「水より製法」を採用し、和紙糸を素材にしたこれまでにない衣類や雑貨を開発。第1弾として、デニム生地や帆布と組み合わせた女性用バッグを発売した。

新製品のバッグは、デニム製品メーカーや帆布製品メーカーと提携して開発した。和紙帆布にカラフルな花模様などを手書きし高級感が漂う「光」、和紙デニムでカジュアルな雰囲気演出した「ブーンライト」の2タイプ。

いずれも軽量で、通気性や吸水性、発色性にも優れる。紙ならではの特



有の質感も持ち味だ。天然繊維なので焼却しても環境に影響が少ない。価格は6000—8万円台で、中心価格帯は5万円前後。

発売元は備後撚糸（広島県福山市、  
☎ 084・958・3355）。

## この一品

———<開発者から>———

安価な外国製品に押され斜陽の繊維業界にあって、生き残りの手段として取り組んだのが、和紙糸を使った衣類や雑貨の開発だ。

和紙糸の開発には足かけ7年を要した。この糸は和紙のテープをより合わせるようにして作るのだが、普通の綿のようによったのでは糸の品質が均一にならず、すぐに切れてしまう。そこで、材料をいったん水でぬらしてからよるという製法を考案し、結果的に毛羽のない均一な品質の糸を作ることに成功した。

今後は和紙糸を使ったジーンズやユニホーム、下着類、タオル、着物、畳、さらに地元の備後かすりなどにも挑戦していく考えだ。

（営業部部長の光成明浩さん）